

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 1 日

事業名称		住宅施策推進事業費 [空き家実態調査]								
予算科目	款 8	土木費	項 4	住宅費	目 1	住宅管理費	事業番号	10		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名	都市計画		課		地域整備		係	課長名	梅山 直人	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 2		
【施策名】 良好な住宅環境の形成							総合計画書(ページ)	85		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内全域の戸建住宅(併用住宅含む)及び共同住宅				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 戸建住宅(併用住宅含む)及び共同住宅の棟数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市内全域の戸建住宅(併用住宅含む)及び共同住宅の空家棟数を把握する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 戸建住宅(併用住宅含む)及び共同住宅の空家棟数					
	③ そのために何をしましたか。 ① 戸建住宅(併用住宅含む)及び共同住宅を対象に現地調査を実施した。 ② ①で空家候補と判定したものの所有者等について、アンケート調査を実施した。 ③ ①・②の結果を集計・分析した。 ④ ③の結果、空家棟数を確定した。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ① 現地調査の結果、空家候補と判定した戸建住宅(併用住宅含む)及び共同住宅の棟数 ② アンケート調査の発送件数 ③ ①の空家候補の棟数、③のアンケート調査の回答数 ④ 空家棟数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	棟			18,973				
	成果指標	②の数値	棟			233				
目 標		②の目標値		目標値設定の考え方 市内の空家の状況を把握する事業であり、目標値設定に馴染まない。						
活動指標		③の数値				①350棟 ②350通 ③350棟、236通 ④233棟				
3 経費	事業費(実績)		円			7,612,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円			3,806,000				
		特定財源	円			3,806,000				
	(うち受益者負担)		円			0				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人						1.0
		所要人数(再任用)		人						0.0
		職員人件費(再任用以外)		円						8,310,000
職員人件費(再任用)		円			0					
事業費+人件費		円		0	0	15,922,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度		31 年度							
	(2) 環境の変化		なし。							

事業名称	住宅施策推進事業費 [空き家実態調査]			
担当部署・課長名	都市計画課	課	地域整備係	係 課長名 梅山 直人

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	・管理の行き届いていない空家について、施策を検討して欲しいという意見があった。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	本年度のみの事業であるため、なし。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	なし。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)		
なし。		
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
施策名： 良好な住宅環境の形成		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】 空き家実態調査の結果を踏まえ、空家等対策計画を策定する。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
・空家等対策の推進に関する特別措置法第七条に規定する協議会の設置の可否を検討する。 ・空き家実態調査における都補助金の交付は、空家等対策計画の策定が前提となっている。		